

理事長あいさつ

コロナ禍とウクライナ侵攻で明けた令和5年となりましたが、皆さまには変わりなく、お過ごしのこととお察し申し上げます。

どちらも終息を迎える気配が見えませんが、私たちは両者を乗り越えて前進してゆきたいものです。

新渡戸基金は今年も9月に研究誌『新渡戸稲造の世界』を、年4回の季刊紙「太平洋の橋」も例年通り発行してまいります。そのほか春夏秋冬のニトベ・フレンズセミナーなども実施する方向で考えております。

10月半ばには例年通り「新渡戸稲造博士命日祭」での講演会を予定しております。

コロナとウクライナ侵攻がなかなか終息しない現在ではありますが、こういう時こそ、これを好機ととらえ、新渡戸関連の書物に沈潜し地道な力をつけて次の飛躍を期したいと思っております。

世界のこと、日本で起きていることを新渡戸稲造のように常に前向きにとらえていきたいと思っております。今年も新渡戸基金への皆様のご協力をよろしくお願いいたします。